

日本検査機器工業会行

(担当：JIMA 事務局)

FAX：03-3288-5081

発行者

住所：〒.....

会社名：.....

所属：.....

役職・氏名：.....

TEL：.....

FAX：.....

本紙をご記入いただいた方です。

個別確認書兼該当／非該当判定依頼書

次の通り輸出等を予定している。輸出等をするときは、外国為替及び外国貿易法等の輸出関連法規を遵守し、輸出許可証、役務取引許可等が必要であれば確実に取得する。

輸出品目

番号	品名	型名
1	品名は省略せずに正確に、ご記入ください。	型式は省略せずに正確に、ご記入ください。
2		
3		

輸出者	名称： 住所・TEL：	実際に輸出する会社名・住所。TELをご記入ください □発行者と同じであり、記入を省略
輸入者	名称 住所・TEL：	国名： 実際に輸入する国名・会社名・住所。TELをご記入ください
需要者	名称 住所・TEL：	国名： 実際に使用する会社の国名・会社名・住所。TELをご記入ください □輸入者と同じであり、記入を省略
用途 (注1)	当該試験片を使用する対象物または装置の用途を出来るだけ具体的にご記入ください。 該当・非該当判定の際の判断材料になります。	
キャッチオール 規制	客観用件・inform 用件・Know 用件 <input type="checkbox"/> いずれかに該当する <input type="checkbox"/> いずれにも該当しない <input type="checkbox"/> 対象外 (ホワイト国である) <input type="checkbox"/> 社内管理のための「該当／非該当判定書」作成依頼であり、特定の輸出は未定	重要な項目ですので必ずご記入ください。内容については別紙を参照してください。記入が無い場合や「いずれかに該当する」場合、該非判定書の発行は出来ません。
輸出形態	<input type="checkbox"/> 単体 <input type="checkbox"/> システムに付属 <input type="checkbox"/> その ()	
該非判定書	<input type="checkbox"/> 依頼する (入手希望日：20 年 月 日) <input type="checkbox"/> 依頼しない	
備考	本紙をご記入いただいた方、またはその方の会社の本紙記載内容の責任者です。	

(注1) 用途は試験片を使用する対象物又は装置の用途をご記入ください。

上記記入項目に間違いはございません。 発行責任者： 印

参考資料

別紙

客観要件：輸出貨物・提供技術が大量破壊兵器等の開発等のために用いられるおそれがある場合として経済産業省令・告示で定める要件

Inform 要件：輸出貨物・提供技術が大量破壊兵器等の開発等のために用いられるおそれがあるものとして経済産業大臣から許可の申請をすべき旨の通知を受けること。

Know 要件：その他、輸出貨物・提供技術が大量破壊兵器等の開発等又は客観要件として規定された行為のために用いられることとなることを知った場合。

ホワイト国（輸出管理令別表第3に掲げる地域） は次の27ヶ国です。【H29. 2. 1現在】
アルゼンチン、オーストラリア、オーストリア、ベルギー、ブルガリア、カナダ、チェコ、デンマーク、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、アイルランド、イタリア、大韓民国、ルクセンブルク、オランダ、ニュージーランド、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、スペイン、スウェーデン、スイス、英国、アメリカ合衆国

国連武器禁輸国 【H29. 2. 1現在】

輸出令別表第3の2に掲げる次の10ヶ国・地域を仕向地とする貨物の輸出、技術提供の場合には、核兵器等の開発等のおそれに加え、通常兵器の開発等のおそれについても審査する必要があります。

アフガニスタン、中央アフリカ、コンゴ民主共和国、エリトリア、イラク、レバノン、リビア、北朝鮮、ソマリア、スーダン